

様式第48号 (第75条関係)

口座振替依頼書

| | | | | | | | | | | | |
|---------------|--------|----|-------|----|----|---|---|---|---|---|--------------------------|
| 送り先 | 銀行 | | | | | | | | | 店 | 受取人 住所 氏名 ⑩ |
| 科目 | 普通 | 当座 | 口座No. | | | | | | | | |
| 口座名義人 | (フリガナ) | | | | | | | | | | |
| | (漢字) | | | | | | | | | | |
| 金額 | | 億 | 千万 | 百万 | 十万 | 万 | 千 | 百 | 十 | 円 | |
| | | | | | | | | | | | |
| 名古屋港管理組合出納長 様 | | | | | | | | | | | ※振替年月日 |

◎ご注意 ※印は記入しないで下さい。

名古屋港管理組合指定金融機関

様式第五十号及び様式第五十一号を次のように改める。

様式第50号 (第76条関係)

当座口座振込依頼票
振込日

| | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------|----|-------|----|----|---|---|---|---|---|-----|
| 送り先 | 銀行 | | | | | | | | | 店 | 収納印 |
| 科目 | 普通 | 当座 | 口座No. | | | | | | | | |
| 口座名義人 | (フリガナ) | | | | | | | | | | |
| | (漢字) | | | | | | | | | | |
| 金額 | | 億 | 千万 | 百万 | 十万 | 万 | 千 | 百 | 十 | 円 | |
| | | | | | | | | | | | |
| 振込人 | 名古屋港管理組合出納長 | | | | | | | | | | |

様式第51号 削除

(名古屋港管理組合港湾整備事業の財務に関する特例を定める規則の一部改正)

第二条 名古屋港管理組合港湾整備事業の財務に関する特例を定める規則(昭和三十九年名古屋港管理組合規則第十三号)の一部を次のように改正する。

第九条第二項中第七号から第九号までを削り、第十号を第七号とし、第十一号から第十七号までを三号ずつ繰り上げ、同条第二項中「第十号」を「第七号」に改める。

第二十五条第三項中「概算払又は前金払」を「又は概算払」に、「債権額が確定した後または役務の提供が完了した後」を「又は債権額が確定した後」に改め、同条第五項を削る。

附則

(施行期日)

- 1 この規則は、平成十八年四月一日から施行する。
(名古屋港管理組合財務規則の一部改正に伴う経過措置)
2 この規則施行の際第一条の規定による改正前の名古屋港管理組合財務規則の規定に基づいて作成されている様式第四十七号、様式第四十八号及び様式第五十号の用紙については、同条の規定による改正後の名古屋港管理組合財務規則(以下「改正後の規則」という。)の規定にかかわらず、当分の間、改正後の規則の様式の要件を満たすよう必要な修正をして使用することができる。

指定管理者による公の施設の管理に関する条例の一部の施行期日を定める規則を公布する。

平成十八年三月三十一日

名古屋港管理組合管理者

名古屋市長 松原 武久

名古屋港管理組合規則第十一号

指定管理者による公の施設の管理に関する条例の一部の施行期日を定める規則

指定管理者による公の施設の管理に関する条例(平成十七年名古屋港管理組合条例第五号)附則ただし書に規定する規定の施行期日は、平成十八年四月一日とする。

附則

この規則は、平成十八年四月一日から施行する。

名古屋港湾会館条例等の一部を改正する条例の施行期日を定める規則を公布する。

平成十八年三月三十一日

名古屋港管理組合管理者

名古屋市長 松原 武久

名古屋港管理組合規則第十二号

名古屋港湾会館条例等の一部を改正する条例の施行期日を定める規則

名古屋港湾会館条例等の一部を改正する条例(平成十七年名古屋港管理組合条例第六号)の施行期日は、平成十八年四月一日とする。

附則

この規則は、平成十八年四月一日から施行する。

名古屋港湾会館管理規則の一部を改正する規則を公布する。

平成十八年三月三十一日

名古屋港管理組合管理者

名古屋市長 松原 武久

名古屋港管理組合規則第十三号

名古屋港湾会館管理規則の一部を改正する規則
名古屋港湾会館管理規則(昭和三十九年名古屋港管理組合規則第八号)の一部を次のように改正する。

第八条の次に次の一条を加える。

(附帯設備に係る利用料金)

第八条の二 条例別表第二附帯設備の表に規定する規則で

定める額は、別表のとおりとする。
附則の次に次の別表を加える。

別表(第八条の二関係)

Table with columns: 附帯設備の区分, 使用単位, 利用料金(単位円), 備考. Rows include categories like 舞台関係附属設備, 照明設備, and 照明器具 with specific items like 所作台, トセットA, トセットB, クセレンヒンスポットライト, スポットライト.

| | | | | | | |
|-----------|----------------|--|-------|--------|-------|------------------------------|
| | | | 五〇〇〇円 | 1台 | 1100 | セラミック ペーパー は、金ま ない。 |
| 音響関係 備 | マイクロホン | | | 1個 | 500 | |
| | ワイヤレスマイクロホン | | | 1チャンネル | 1500 | 電池は 金ま ない。 |
| | CDプレイヤー | | | 1台 | 800 | |
| | MDデッキ | | | 1台 | 800 | ディスク は、金ま ない。 |
| | カセットデッキ | | | 1台 | 800 | テープは、 金ま ない。 |
| 映写機 | 十六ミリ映写機 | | | 1組 | 11500 | |
| | オーバーヘッドプロジェクター | | | 1組 | 1500 | |
| | ピアノ(フルコンソール) | | | 1台 | 4000 | 調律費は 金ま ない。 |
| 浴室 | | | | 1回 | 700 | |

備考 入場料又はこれに類するものを徴収して使用する場
合の額は、この表に定める額にその額の五割を加算し
た額とする。

附 則

この規則は、平成十八年四月一日から施行する。

告 示

名古屋港管理組合告示第7号

平成18年3月定例名古屋港管理組合議会で認定された平成
16年度名古屋港管理組合一般会計歳入歳出決算の要領は、次
のとおりである。

平成18年3月31日

名古屋港管理組合管理者
名古屋市長 松原 武久

平成16年度名古屋港管理組合一般会計歳入歳出決算

| 歳 入 | |
|--------------|----------------|
| 第1款 分担金及び負担金 | 7,918,331,566円 |
| 第1項 負担金 | 7,918,331,566円 |
| 第2款 使用料及び手数料 | 9,612,871,569円 |
| 第1項 使用料 | 9,612,860,469円 |
| 第2項 手数料 | 11,100円 |
| 第3款 国庫支出金 | 2,272,260,103円 |
| 第1項 国庫負担金 | 2,272,260,103円 |
| 第4款 財産収入 | 4,270,141,243円 |
| 第1項 財産運用収入 | 4,270,141,243円 |
| 第2項 財産売払収入 | 0円 |
| 第5款 寄附金 | 117,197,144円 |
| 第1項 寄附金 | 117,197,144円 |
| 第6款 繰入金 | 740,734,498円 |
| 第1項 他会計繰入金 | 140,734,498円 |
| 第2項 他会計借入金 | 600,000,000円 |

| | |
|-----------------|-----------------|
| 第7款 繰越金 | 1,400,918,344円 |
| 第1項 繰越金 | 1,400,918,344円 |
| 第8款 諸収入 | 1,664,000,930円 |
| 第1項 延滞金、加算金及び過料 | 1,682,020円 |
| 第2項 預金利子 | 637,881円 |
| 第3項 受託事業収入 | 237,475,552円 |
| 第4項 貸付金元利収入 | 1,208,529,621円 |
| 第5項 雑入 | 215,675,856円 |
| 第9款 組合債 | 9,588,630,000円 |
| 第1項 組合債 | 9,588,630,000円 |
| 歳 入 合 計 | 37,585,085,397円 |

| 歳 出 | |
|-------------|-----------------|
| 第1款 議会費 | 156,466,072円 |
| 第1項 議会費 | 156,466,072円 |
| 第2款 総務費 | 4,035,637,163円 |
| 第1項 総務管理費 | 3,967,656,515円 |
| 第2項 監査委員費 | 67,980,648円 |
| 第3款 企画調整費 | 756,541,497円 |
| 第1項 企画調整管理費 | 723,014,945円 |
| 第2項 調査費 | 33,526,552円 |
| 第4款 港営費 | 5,025,299,550円 |
| 第1項 港営管理費 | 1,113,597,524円 |
| 第2項 運営費 | 3,911,702,026円 |
| 第5款 建設費 | 14,788,415,069円 |
| 第1項 建設管理費 | 1,535,470,514円 |
| 第2項 整備費 | 13,252,944,555円 |
| 第6款 公債費 | 11,317,246,987円 |
| 第1項 公債費 | 11,317,246,987円 |
| 第7款 予備費 | 0円 |
| 第1項 予備費 | 0円 |
| 歳 出 合 計 | 36,079,606,338円 |

名古屋港管理組合告示第8号

平成18年3月定例名古屋港管理組合議会で認定された平成
16年度名古屋港管理組合基金特別会計歳入歳出決算の要領は、
次のとおりである。

平成18年3月31日

名古屋港管理組合管理者
名古屋市長 松原 武久

**平成16年度名古屋港管理組合基金特別会計歳入歳出
決算**

| 歳 入 | |
|----------------|--------------|
| 第1款 水族館振興基金収入 | 382,847,909円 |
| 第1項 財産収入 | 113,409円 |
| 第2項 寄附金 | 19,000,000円 |
| 第3項 繰入金 | 257,000,000円 |
| 第4項 繰越金 | 0円 |
| 第5項 積戻金 | 106,734,500円 |
| 第2款 海事文化振興基金収入 | 87,003,804円 |
| 第1項 財産収入 | 3,806円 |
| 第2項 寄附金 | 10,000,000円 |
| 第3項 繰入金 | 43,000,000円 |
| 第4項 繰越金 | 0円 |
| 第5項 積戻金 | 33,999,998円 |
| 第3款 環境振興基金収入 | 216,287,139円 |
| 第1項 財産収入 | 22,585円 |
| 第2項 寄附金 | 216,264,554円 |
| 第3項 繰入金 | 0円 |
| 第4項 繰越金 | 0円 |
| 第5項 積戻金 | 0円 |
| 歳 入 合 計 | 686,138,852円 |

| | |
|--------------|--------------|
| 第1款 水族館振興基金 | 382,847,909円 |
| 第1項 積立金 | 276,113,409円 |
| 第2項 繰出金 | 106,734,500円 |
| 第2款 海事文化振興基金 | 77,003,804円 |
| 第1項 積立金 | 43,003,806円 |
| 第2項 繰出金 | 33,999,998円 |
| 第3款 環境振興基金 | 216,139,143円 |
| 第1項 積立金 | 216,139,143円 |
| 第2項 繰出金 | 0円 |
| 歳 出 合 計 | 675,990,856円 |

名古屋港管理組合告示第9号

平成18年3月定例名古屋港管理組合議会の議決を経た平成18年度名古屋港管理組合予算の要領は、次のとおりである。

平成18年3月31日

名古屋港管理組合管理者

名古屋市長 松原 武久

平成18年度名古屋港管理組合一般会計予算

平成18年度名古屋港管理組合一般会計の予算は、次に定めるところによる。

(歳入歳出予算)

第1条 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ34,470,000千円と定める。

2 歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第1表 歳入歳出予算」による。

(債務負担行為)

第2条 地方自治法(昭和22年法律第67号)第214条の規定により債務を負担する行為をすることができる事項、期間及び限度額は、「第2表 債務負担行為」による。

(組合債)

第3条 地方自治法第230条第1項の規定により起こすことができる組合債の起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、「第3表 組合債」による。

(一時借入金)

第4条 地方自治法第235条の3第2項の規定による一時借入金の借入れの最高額は、4,000,000千円と定める。

(歳出予算の流用)

第5条 地方自治法第220条第2項ただし書の規定により歳出予算の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

各項に計上した給料、職員手当及び共済費(賃金に係る共済費を除く。)に係る予算額に過不足を生じた場合における同一款内でのこれらの経費の各項の間の流用

第1表 歳入歳出予算

歳 入

| 款 | 項 | 金 額 |
|------------|----------|-------------------------|
| 1 分担金及び負担金 | | 9,170,379 ^{千円} |
| | 1 負担金 | 9,170,379 |
| 2 使用料及び手数料 | | 7,205,242 |
| | 1 使用料 | 7,205,232 |
| | 2 手数料 | 10 |
| 3 国庫支出金 | | 1,303,600 |
| | 1 国庫負担金 | 1,303,600 |
| 4 財産収入 | | 4,677,477 |
| | 1 財産運用収入 | 4,677,447 |
| | 2 財産売却収入 | 30 |

| | | |
|---------|-----------------|------------|
| 5 寄 附 金 | | 千円 10 |
| | 1 寄 附 金 | 10 |
| 6 繰 入 金 | | 622,000 |
| | 1 他 会 計 繰 入 金 | 322,000 |
| | 2 他 会 計 借 入 金 | 300,000 |
| 7 繰 越 金 | | 400,000 |
| | 1 繰 越 金 | 400,000 |
| 8 諸 収 入 | | 1,566,792 |
| | 1 延滞金、加算金及び過料 | 20 |
| | 2 預 金 利 子 | 710 |
| | 3 受 託 事 業 収 入 | 185,200 |
| | 4 貸 付 金 元 利 収 入 | 1,149,158 |
| | 5 雑 入 | 231,704 |
| 9 組 合 債 | | 9,524,500 |
| | 1 組 合 債 | 9,524,500 |
| 歳 入 合 計 | | 34,470,000 |

歳 出

| 款 | 項 | 金 額 |
|-------------|-----------------|---------------|
| 1 議 会 費 | | 千円 166,378 |
| | 1 議 会 費 | 166,378 |
| 2 総 務 費 | | 5,379,725 |
| | 1 総 務 管 理 費 | 5,305,870 |
| | 2 監 査 委 員 費 | 73,855 |
| 3 企 画 調 整 費 | | 979,292 |
| | 1 企 画 調 整 管 理 費 | 848,261 |
| | 2 調 査 費 | 131,031 |
| 4 港 営 費 | | 3,497,017 |
| | 1 港 営 管 理 費 | 1,331,859 |
| | 2 運 営 費 | 2,165,158 |
| 5 建 設 費 | | 11,795,588 |
| | | |

| | | |
|-------|---------|------------|
| | 1 建設管理費 | 1,507,648 |
| | 2 整備費 | 10,287,940 |
| 6 公債費 | | 12,622,000 |
| | 1 公債費 | 12,622,000 |
| 7 予備費 | | 30,000 |
| | 1 予備費 | 30,000 |
| 歳出合計 | | 34,470,000 |

第2表 債務負担行為

| 事項 | 期間 | 限度額 |
|-----------------------------|---------------|--|
| 港湾計画改訂調査費 | 平成19年度 | 142,900 |
| 鍋田ふ頭道路整備費 | 平成19年度 | 210,000 |
| 名古屋港水族館整備費 | 平成19年度 | 33,000 |
| (財)名古屋港埠頭公社の事業資金借入金に対する損失補償 | 平成18年度～平成32年度 | 金融機関が当該貸付金の全部又は一部を回収できないことにより損失を受けたときは、309,662千円及び利息相当額を限度として補償する。 |
| (財)名古屋港埠頭公社の事業資金借入金に対する損失補償 | 平成18年度～平成37年度 | 金融機関が当該貸付金の全部又は一部を回収できないことにより損失を受けたときは、43,500千円及び利息相当額を限度として補償する。 |
| (財)名古屋港埠頭公社の事業資金借入金に対する損失補償 | 平成18年度～平成37年度 | 金融機関が当該貸付金の全部又は一部を回収できないことにより損失を受けたときは、199,800千円及び利息相当額を限度として補償する。 |
| (財)名古屋港埠頭公社の事業資金借入金に対する損失補償 | 平成18年度～平成37年度 | 金融機関が当該貸付金の全部又は一部を回収できないことにより損失を受けたときは、170,000千円及び利息相当額を限度として補償する。 |

第3表 組合債

| 起債の目的 | 限度額 | 起債の方法 | 利率 | 償還の方法 |
|------------|-----------|--------------------|--------|--|
| 公共事業 | 5,850,000 | 普通貸借 又は 債券発行 | 8.5%以内 | 政府資金については融資条件により、銀行その他の場合には起債年度から据置期間を含めて30年度間以内に元利均等、元金均等若しくは元金不均等の方法で毎年度1期若しくは2期に分けて償還し、又は満期日に元金を一括して償還する。ただし、組合財政その他の都合により据置期間及び償還期間を短縮し、若しくは繰上償還し、又は借り換えることができる。 |
| 港湾整備事業 | 842,000 | | | |
| 単独事業 | 709,000 | | | |
| コンテナ埠頭整備事業 | 1,434,500 | | | |
| その他事業 | 689,000 | | | |
| 計 | 9,524,500 | | | |

平成18年度名古屋港管理組合基金特別会計予算

平成18年度名古屋港管理組合基金特別会計の予算は、次に定めるところによる。

(歳入歳出予算)

第1条 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ323,000千円と定める。

2 歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第1表 歳入歳出予算」による。

第1表 歳入歳出予算

歳入

| 款 | 項 | 金額 |
|--------------|--------|---------|
| 1 水族館振興基金収入 | | 292,300 |
| | 1 財産収入 | 280 |
| | 2 寄附金 | 10 |
| | 3 繰越金 | 10 |
| | 4 積戻金 | 292,000 |
| 2 海事文化振興基金収入 | | 9,100 |
| | 1 財産収入 | 80 |
| | 2 寄附金 | 10 |
| | 3 繰越金 | 10 |
| | 4 積戻金 | 9,000 |
| 3 環境振興基金収入 | | 21,600 |
| | 1 財産収入 | 100 |
| | 2 寄附金 | 480 |
| | 3 繰越金 | 20 |

| | | |
|------------|---------|---------------|
| | 4 積 戻 金 | 千円 21,000 |
| 歳 入 | 合 計 | 323,000 |
| 歳 出 | | |
| 款 | 項 | 金 額 |
| 1 水族館振興基金 | | 千円 292,300 |
| | 1 積 立 金 | 300 |
| | 2 繰 出 金 | 292,000 |
| 2 海事文化振興基金 | | 9,100 |
| | 1 積 立 金 | 100 |
| | 2 繰 出 金 | 9,000 |
| 3 環境振興基金 | | 21,600 |
| | 1 積 立 金 | 600 |
| | 2 繰 出 金 | 21,000 |
| 歳 出 | 合 計 | 323,000 |

平成18年度名古屋港管理組合施設運営事業会計予算

(総 則)

第1条 平成18年度名古屋港管理組合施設運営事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

| 区 分 | 施 設 | 事 項 | 備 考 |
|-------|-------------------------|------------------------|-------------------|
| 事 業 量 | 上 屋 43棟 | 一般使用許可面積 | 平方メートル 91,093 |
| | | 専用使用許可面積 | 平方メートル 40,677 |
| | 貯 木 場 8か所 | 一般使用許可面積 | 平方メートル 455,450 |
| | | 専用使用許可面積 | 平方メートル 984,700 |
| | 荷役機械 13基 | 使用時間 | 時間 14,888 |
| | ひき船 4隻 | 使用時間 | 時間 4,934 |
| | 施設の維持補修及び 施設の増補・改良工事 | 施設維持補修工事及び 荷役機械整備工事 | 千円 279,000 |

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

| | | |
|------------|-----|-------------|
| | 収 入 | |
| 第1款 施設運営事業 | 収 益 | 3,749,000千円 |
| 第1項 営 業 | 収 益 | 3,746,599千円 |
| 第2項 営 業 外 | 収 益 | 2,381千円 |
| 第3項 特 別 | 利 益 | 20千円 |

| | | 支 出 | |
|-----|----------|-----|-------------|
| 第1款 | 施設運営事業費用 | | 3,745,000千円 |
| 第1項 | 営業費用 | | 3,440,813千円 |
| 第2項 | 営業外費用 | | 294,167千円 |
| 第3項 | 特別損失 | | 20千円 |
| 第4項 | 予備費 | | 10,000千円 |

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める(資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額826,570千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額4,000千円並びに過年度分損益勘定留保資金822,570千円で補てんするものとする。)

| | | 収 入 | |
|-----|----------|-----|-----------|
| 第1款 | 資本的収入 | | 475,030千円 |
| 第1項 | 固定資産売却代金 | | 10千円 |
| 第2項 | 寄付附金 | | 10千円 |
| 第3項 | 貸付金返還金 | | 475,000千円 |
| 第4項 | その他資本的収入 | | 10千円 |

| | | 支 出 | |
|-----|---------|-----|-------------|
| 第1款 | 資本的支出 | | 1,301,600千円 |
| 第1項 | 建設改良費 | | 92,000千円 |
| 第2項 | 固定資産購入費 | | 1,068千円 |
| 第3項 | 企業債償還金 | | 1,208,532千円 |

(一時借入金)

第5条 一時借入金の限度額は、400,000千円と定める。

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第6条 次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に流用し、又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

職員給与費 563,743千円

(たな卸資産購入限度額)

第7条 たな卸資産の購入限度額は、20,000千円と定める。

平成18年度名古屋港管理組合理立事業会計予算

(総則)

第1条 平成18年度名古屋港管理組合理立事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

道路整備 720メートル

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

| | | 収 入 | |
|-----|--------|-----|-----------|
| 第1款 | 埋立事業収益 | | 222,000千円 |
| 第1項 | 営業外収益 | | 221,970千円 |
| 第2項 | 特別利益 | | 30千円 |

| | | 支 出 | |
|-----|--------|-----|-----------|
| 第1款 | 埋立事業費用 | | 421,000千円 |
| 第1項 | 営業費用 | | 388,159千円 |
| 第2項 | 営業外費用 | | 22,811千円 |
| 第3項 | 特別損失 | | 30千円 |
| 第4項 | 予備費 | | 10,000千円 |

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

| | | 収 入 | |
|-----|--------|-----|-------------|
| 第1款 | 資本的収入 | | 4,268,000千円 |
| 第1項 | 埋立事業収入 | | 3,744,424千円 |
| 第2項 | 雑収入 | | 283,576千円 |
| 第3項 | 貸付金返還金 | | 240,000千円 |

| | | 支 出 | |
|-----|-----------|-----|-------------|
| 第1款 | 資本的支出 | | 2,441,000千円 |
| 第1項 | 南部地区埋立事業費 | | 62,200千円 |
| 第2項 | 西部地区埋立事業費 | | 503,100千円 |
| 第3項 | 南5区埋立事業費 | | 60,400千円 |
| 第4項 | 総係費 | | 222,168千円 |
| 第5項 | 企業債費 | | 1,277,875千円 |
| 第6項 | 他会計貸付金 | | 300,000千円 |

| | | | |
|-------|---|---|----------|
| 第7項 雑 | 支 | 出 | 5,257千円 |
| 第8項 予 | 備 | 費 | 10,000千円 |

(一時借入金)

第5条 一時借入金の限度額は、1,000,000千円と定める。

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第6条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

各項に計上した給料、手当及び法定福利費に係る予算額に過不足を生じた場合における同一款内でのこれらの経費の各項の間の流用

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第7条 次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に流用し、又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

| | |
|-------|-----------|
| 職員給与費 | 392,514千円 |
|-------|-----------|

(たな卸資産購入限度額)

第8条 たな卸資産の購入限度額は、4,500千円と定める。

(重要な資産の取得及び処分)

第9条 重要な資産の処分は、次のとおりとする。

| 処分する資産 | 種類 | 名称 | 数量 | 処分の態様 |
|--------|----|-------|--------------|-------|
| | 土地 | 南部地区内 | 17,000平方メートル | 譲渡 |
| | 土地 | 西部地区内 | 25,000平方メートル | 譲渡 |
| | 土地 | 西部地区内 | 15,100平方メートル | 譲渡 |
| | 土地 | 西部地区内 | 13,100平方メートル | 譲渡 |

名古屋港管理組合告示第10号

平成18年3月定例名古屋港管理組合議会の議決を経た平成17年度名古屋港管理組合補正予算の要領は、次のとおりである。

平成18年3月31日

名古屋港管理組合管理者

名古屋市長 松原 武久

平成17年度名古屋港管理組合一般会計補正予算

平成17年度名古屋港管理組合一般会計の補正予算は、次に定めるところによる。

(歳入歳出予算の補正)

第1条 歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ1,701,700千円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ35,641,300千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

(繰越明許費の補正)

第2条 繰越明許費の補正は、「第2表 繰越明許費補正」による。

(組合債の補正)

第3条 組合債の補正は、「第3表 組合債補正」による。

第1表 歳入歳出予算補正

(△印は、減額を示す。)

歳 入

| 款 | 項 | 補正前の額 | 補正額 | 計 |
|---|----------|-----------|-----------|-----------|
| 2 | 使用料及び手数料 | 9,415,715 | 138,400 | 9,554,115 |
| | 1 使用料 | 9,415,705 | 138,400 | 9,554,105 |
| 3 | 国庫支出金 | 1,448,600 | △ 89,400 | 1,359,200 |
| | 1 国庫負担金 | 1,448,600 | △ 89,400 | 1,359,200 |
| 6 | 繰入金 | 767,220 | △ 465,800 | 301,420 |
| | 1 他会計繰入金 | 267,220 | △ 165,800 | 101,420 |
| | 2 他会計借入金 | 500,000 | △ 300,000 | 200,000 |

| | | | | |
|---------|-------------|-----------------|-------------------|-----------------|
| 9 組 合 債 | | 千円 9,823,250 | 千円 △ 1,284,900 | 千円 8,538,350 |
| | 1 組 合 債 | 9,823,250 | △ 1,284,900 | 8,538,350 |
| 歳 入 | 合 計 | 37,343,000 | △ 1,701,700 | 35,641,300 |
| 歳 出 | | | | |
| 款 | 項 | 補 正 前 の 額 | 補 正 額 | 計 |
| 2 総 務 費 | | 千円 6,633,922 | 千円 △ 1,428,638 | 千円 5,205,284 |
| | 1 総 務 管 理 費 | 6,561,857 | △ 1,428,638 | 5,133,219 |
| 5 建 設 費 | | 11,785,593 | △ 273,062 | 11,512,531 |
| | 1 建 設 管 理 費 | 1,558,143 | 0 | 1,558,143 |
| | 2 整 備 費 | 10,227,450 | △ 273,062 | 9,954,388 |
| 歳 出 | 合 計 | 37,343,000 | △ 1,701,700 | 35,641,300 |

第2表 繰越明許費補正

| | | | | |
|---------|-------------|----------------|-----------|---------------|
| 款 | 項 | 事 業 名 | 補 正 前 の 額 | 補 正 後 の 額 |
| 2 総 務 費 | 1 総 務 管 理 費 | (財)名古屋港埠頭公社貸付金 | 千円 — | 千円 101,500 |
| 計 | | | 105,000 | 206,500 |

第3表 組合債補正

(△印は、減額を示す。)

| 起債の目的 | 限 度 額 | | | 起債の方法 | 利 率 | 償 還 の 方 法 |
|----------------|-----------------|-----------------|-----------------|--------------------|--------|--|
| | 補正前の額 | 補 正 額 | 計 | | | |
| 公 共 事 業 | 千円 5,950,000 | 千円 △ 131,000 | 千円 5,819,000 | 普通貸借 又は 債券発行 | 8.5%以内 | 政府資金については融資条件により、銀行その他の場合には起債年度から据置期間を含めて30年度間以内に元利均等、元金均等若しくは元金不均等の方法で毎年度1期若しくは2期に分けて償還し、又は満期日に元金を一括して償還する。ただし、組合財政その他の都合により据置期間及び償還期間を短縮し、若しくは繰上償還し、又は借り換えることができる。 |
| 単 独 事 業 | 1,077,000 | △ 398,000 | 679,000 | | | |
| コンテナ埠頭 整備事業 | 2,130,750 | △ 709,000 | 1,421,750 | | | |
| フェリー埠頭 整備事業 | 129,500 | △ 46,900 | 82,600 | | | |
| 計 | 9,823,250 | △ 1,284,900 | 8,538,350 | | | |

平成17年度名古屋港管理組合基金特別会計補正予算

平成17年度名古屋港管理組合基金特別会計の補正予算は、次に定めるところによる。

(歳入歳出予算の補正)

第1条 歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ158,800千円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ463,200千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

第1表 歳入歳出予算補正

(△印は、減額を示す。)

歳 入

| 款 | 項 | 補正前の額 | 補正額 | 計 |
|---------|------------|-----------------------|-------------------------|-----------------------|
| 1 | 水族館振興基金収入 | 518,430 ^{千円} | △ 154,000 ^{千円} | 364,430 ^{千円} |
| | 2 寄 附 金 | 10 | 6,000 | 6,010 |
| | 5 積 戻 金 | 258,200 | △ 160,000 | 98,200 |
| 2 | 海事文化振興基金収入 | 52,090 | △ 5,800 | 46,290 |
| | 5 積 戻 金 | 9,000 | △ 5,800 | 3,200 |
| 3 | 環境振興基金収入 | 51,480 | 1,000 | 52,480 |
| | 2 寄 附 金 | 44,072 | 1,000 | 45,072 |
| 歳 入 合 計 | | 622,000 | △ 158,800 | 463,200 |

歳 出

| 款 | 項 | 補正前の額 | 補正額 | 計 |
|---------|----------|-----------------------|-------------------------|-----------------------|
| 1 | 水族館振興基金 | 518,430 ^{千円} | △ 154,000 ^{千円} | 364,430 ^{千円} |
| | 1 積 立 金 | 260,230 | 6,000 | 266,230 |
| | 2 繰 出 金 | 258,200 | △ 160,000 | 98,200 |
| 2 | 海事文化振興基金 | 52,090 | △ 5,800 | 46,290 |
| | 2 繰 出 金 | 9,000 | △ 5,800 | 3,200 |
| 3 | 環境振興基金 | 51,480 | 1,000 | 52,480 |
| | 1 積 立 金 | 51,460 | 1,000 | 52,460 |
| 歳 出 合 計 | | 622,000 | △ 158,800 | 463,200 |

平成17年度名古屋港管理組合埋立事業会計補正予算

(総 則)

第1条 平成17年度名古屋港管理組合埋立事業会計の補正予算は、次に定めるところによる。

(資本的収入及び支出)

第2条 平成17年度名古屋港管理組合埋立事業会計予算第4条に定めた資本的支出の予定額を、次のとおり補正する。

(△印は、減額を示す。)

| (科 目) | (既決予定額) | (補正予定額) | (計) |
|---------------|-------------|-------------|-------------|
| | 支 | 出 | |
| 第1款 資本的支出 | 2,608,000千円 | △ 470,000千円 | 2,138,000千円 |
| 第2項 西部地区埋立事業費 | 487,000千円 | △ 170,000千円 | 317,000千円 |
| 第6項 他会計貸付金 | 500,000千円 | △ 300,000千円 | 200,000千円 |

名古屋港管理組合告示第11号

平成15年名古屋港管理組合告示第20号(指定金融機関、収納代理金融機関)の一部を次のように改正し、平成18年4月1日から施行する。

平成18年3月31日

名古屋港管理組合管理者

名古屋市長 松原 武久

表中「| 収納代理金融機関 | 株式会社 三井住友銀行 名古屋支店 |」を「| 収納代理金融機関 | 株式会社 三井住友銀行 |」に、「| 同 | 株式会社 みずほ銀行 名古屋支店 |」を「| 同 | 株式会社 みずほ銀行 |」に改める。

名古屋港管理組合告示第12号

平成15年名古屋港管理組合告示第21号(出納取扱金融機関、収納取扱金融機関)の一部を次のように改正し、平成18年4月1日から施行する。

平成18年3月31日

名古屋港管理組合管理者
名古屋市長 松原 武久

表中「| 収納取扱金融機関 | 株式会社 三井住友銀行 名古屋支店 |」を「| 収納取扱金融機関 | 株式会社 三井住友銀行 |」に、「| 同 | 株式会社 みずほ銀行 名古屋支店 |」を「| 同 | 株式会社 みずほ銀行 |」に改める。

名古屋港管理組合告示第13号

地方自治法(昭和22年法律第67号)第244の2第3項に規定する指定管理者を次のとおり指定した。

平成18年3月31日

名古屋港管理組合管理者
名古屋市長 松原 武久

1 指定に係る施設の名称及び指定の相手方

| 施設の名称 | 指定の相手方 |
|---|--|
| 名古屋港湾会館 | 名古屋市港区港町1番3号 財団法人名古屋みなと振興財団 理事長 山田 孝嗣 |
| 新舞子マリナーパーク、南浜緑地及び北浜緑地 | 愛知県海部郡飛島村木場二丁目67番 財団法人名古屋港緑地保全協会 理事長 北洞 尚志 |
| 富浜緑地、堀川東緑地、大手ふ頭緑地、稲永緑地、空見緑地、金城ふ頭中央緑地、金城ふ頭南緑地、金岡緑地、木場東緑地、木場南広場、楠広場、楠緑地、楠南広場、東浜中央緑地、中川口緑地及び新宝緑地 | 愛知県海部郡飛島村木場二丁目67番 財団法人名古屋港緑地保全協会 理事長 北洞 尚志 |
| 名古屋港水族館、名古屋ポートビル及びガーデンふ頭臨港緑園 | 名古屋市港区港町1番3号 財団法人名古屋みなと振興財団 理事長 山田 孝嗣 |

2 指定の期間 平成18年4月1日から平成22年3月31日まで

名古屋港管理組合告示第14号

平成4年10月29日名古屋港管理組合告示第52号(徴収事務等の委託)は、平成18年3月31日限り廃止する。

平成18年3月31日

名古屋港管理組合管理者
名古屋市長 松原 武久

名古屋港管理組合告示第15号

平成4年10月29日名古屋港管理組合告示第53号(徴収事務等の委託)は、平成18年3月31日限り廃止する。

平成18年3月31日

名古屋港管理組合管理者
名古屋市長 松原 武久

名古屋港管理組合告示第16号

昭和62年3月25日名古屋港管理組合告示第8号（名古屋港湾会館の使用料の細目料金）は、平成18年3月31日限り廃止する。

平成18年3月31日

名古屋港管理組合管理者
名古屋市長 松原 武久

名古屋港管理組合告示第17号

次の港湾施設は、平成18年4月1日から次のとおり変更する。

平成18年3月31日

名古屋港管理組合管理者
名古屋市長 松原 武久

施設の種類 野積場
変更前

| 名 称 (括弧内は、その略称) | 等 級 | 位 置 | 面 積 |
|--------------------|-----|--------------|---------------------------------|
| 弥富ふ頭b野積場 (弥富b) | 1 | 海部郡弥富町大字楠三丁目 | 44,621 <small>平方メートル</small> |

変更後

| 名 称 (括弧内は、その略称) | 等 級 | 位 置 | 面 積 |
|--------------------|-----|---------|---------------------------------|
| 弥富ふ頭b野積場 (弥富b) | 1 | 弥富市楠三丁目 | 44,621 <small>平方メートル</small> |

名古屋港管理組合告示第18号

次の臨港緑地は、平成18年4月1日から次のとおり変更する。

平成18年3月31日

名古屋港管理組合管理者
名古屋市長 松原 武久

変更前

| 名 称 | 位 置 | 区 域 | 施設の概要 |
|-------|---|---------|---|
| 楠広場 | 海部郡弥富町大字楠一丁目 97 番 | 別添図示(略) | 運動施設 野球場 (1面) |
| 楠緑地 | 海部郡弥富町大字楠一丁目 3 番 二丁目 64 番 三丁目 1 番 | | サイクリングロード |
| 楠南広場 | 海部郡弥富町大字楠三丁目 17 番 | | 運動施設 野球場 (1面) |
| 富浜緑地 | 海部郡弥富町富浜一丁目 1 4 | | サイクリングロード(自転車貸出所) 運動施設 テニスコート (8面) 運動広場 (2面) ゴルフ場(名古屋港ゴルフ倶楽部(富浜コース)。18ホール、打球場) 散策、休息施設 |
| 中川口緑地 | 名古屋市港区中川本町地先 | | 休息施設 |

変更後

| 名 称 | 位 置 | 区 域 | 施設の概要 |
|-------|------------------------------------|------------------|---|
| 楠広場 | 弥富市楠一丁目 97 番 | 別 添 図 示 | 運動施設 野球場（1面） |
| 楠緑地 | 弥富市楠一丁目 3 番 二丁目 64 番 三丁目 1 番 | | サイクリングロード |
| 楠南広場 | 弥富市楠三丁目 17 番 | | 運動施設 野球場（1面） |
| 富浜緑地 | 弥富市富浜一丁目 1 4 | | サイクリングロード（自転車貸出所） 運動施設 テニスコート（8面） 運動広場（2面） ゴルフ場（名古屋港ゴルフ倶楽部（富浜コース）。18ホール、 打球場） 散策、休息施設 |
| 中川口緑地 | 名古屋市港区中川本町地先 河口町地先 | | 休息施設 |

